

中学校区におけるめざす子ども像										堺市立金岡南中学校			
自分のよさを知り、失敗を恐れないで挑戦する子										校長 齊 田 浩			
令和6年度 重点目標 人間尊重の精神を基盤として 「学びの楽しさを知り、自分から学びに向かう生徒を育成する。」「自分自身や周りの人を大切にできる生徒を育成する。」 ことを目指してスケールメリットを生かしたチーム力による実践を展開する。													
確かな学びの現状 ・GIGAスクール構想推進校として構築した教職員の高いICT活用力に基づいて、高い水準の授業が展開されていることが学校教育アンケートの結果等からも伺える。 ・安定的な授業基盤が構築できていることを背景に、授業中に自分の考えをまとめたり、発表したりすることについては一定の成果が認められるものの、基礎学力向上が求められる生徒への一層の働きかけが必要な状況がある。 ・自主的な学習を習慣づけるためにGIGA端末を積極的に活用しており、その成果が認められる一方、自ら学びに向かうことや家庭学習の時間確保などについては、なお改善を進める必要がある。								豊かな心・健やかな体の現状 ・全般的に安定した状況を維持するなかで、体育大会の校内実施、フェニーチェにおける文化活動発表会などを通じて、知識・技術・技能だけでなく、生徒の自己肯定感を高める取組を展開し、成果が得られつつある。 ・クラブ活動は活発で大会等でも成果を上げているほか、休み時間にも自主的・意欲的に体を動かす生徒が多い一方、休み時間の運動や体育の授業に消極的・傍観的な生徒との二極化が進んでいる。 ・教室に入りづらい生徒のために開設した「なんちゅうルーム」に加え、通級指導、スクールカウンセラーの関与などの重層的な対応を展開して一定の成果が得られているものの、不登校等への取組を一層強化する必要がある。 ・いじめ重大事案の発生は認められないものの、いじめの根絶には至らず、継続した働きかけが必要な状況にある。					
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)					
								自己評価		学校関係者評価			
確かな学び	授業改善	・落ち着いた教育環境に基づく秩序と活気のある教育活動を展開し「総合的な学力」を育成する ・ICT機器の活用等に基づく深い学びの場を構築し、信頼性・妥当性の高い評価と併せて授業の質的向上を図る	スケールメリットを生かし、複数教員のサポート等により教育環境を維持するとともに数学・英語の少人数習熟度別指導を効果的に展開する	「少人数授業やT・Tをもっといろんな教科で増やしてほしい」生徒が70%以上	学校教育アンケート等	年度末	○	・少人数授業によるきめ細かい授業を実施している。					
			●実践的な研修の充実に基づいた職員のスキルアップやICT機器の効果的な活用による授業方法の改善を進め、学力向上を図る	「タブレットを活用した授業は、楽しくわかりやすい」と答える生徒が85%以上	学校教育アンケート等	年度末	○	・タブレット利用は定着している。					
			学力の向上	・家庭学習の習慣化に結び付く授業展開と指導を推進する ・自ら進んで学ぶ意欲を喚起し、学力低位層の減少を図る	全学年に学習の手引きを配布し、家庭で自主的に学習できるように習慣づける	「家では時間を決めて勉強している」生徒が70%以上	学校教育アンケート等	年度末	△	・家庭での学習が定着しつつある。 ・学びのコンパスに関する職員研修を実施している・ ・提出物等を期限内に提出する生徒が増加している。			
	「学びのコンパス」「堺STEAMブック」導入を踏まえた研修に基づく授業展開により学力の向上を図り、自ら進んで学習できる基盤を構築する	「授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」生徒が75%以上			学校教育アンケート等	年度末	△						
	Society5.0を見据えたGIGA端末の活用推進等に基づいて、自ら進んで課題に取り組む習慣を身につけさせる	「宿題や提出物は必ず出している」生徒が95%以上			学校教育アンケート等	年度末	△						
	豊かな心・健やかな体	社会適応力の向上	・自分自身の長所や短所を理解し、他者を大切にしながら、多様化する社会の変化に適応できる力を養う ・学校いじめ防止対策基本法にもとづいていじめ対策の徹底を図る。 ・なんちゅうルーム、通級指導等を通じて安全・安心な学びの場を提供する	★キャリアパスポートを用いたキャリア教育、いのちの授業、障がい者理解教育など自分と他者との関係を見つめる活動の展開及びスクールカウンセラー、関係機関等の効果的な関与を推進する	「学校では将来の進路や職業・夢などについて考える機会がある」生徒が95%以上	学校教育アンケート等	年度末	△	・総合の時間、校外学習等を効果的に組み合わせている。 ・バラスポーツなど外部の方にも指導を受けている。 ・いじめ根絶には至らない				
				「授業で人の生き方や豊かな心のあり方、命の大切さについて学ぶ機会がある」生徒が97%以上	学校教育アンケート等	年度末	○						
●「学校いじめ防止対策基本方針」に基づく校内体制を整備・維持し、外部機関等とも連携していじめの未然防止、早期発見・解決を徹底する				「いじめや校内暴力などについて、先生によく対応してもらえ」生徒が90%以上	学校教育アンケート等	年度末	△						
基本的生活習慣の確立		・生活習慣改善の重要性を理解させるとともに、困難に挑戦する姿勢を身につけさせる	挨拶する、時間を守るなどの日常生活に係る指導を統一的、重層的に展開して定着させる	「自分から友達や先生に挨拶をしている」生徒が93%以上	学校教育アンケート等	年度末	○	・生徒会による朝の意挨拶運動を展開した。 ・自己肯定感に関する職員研修を実施した。					
			体力向上と自己肯定感を高める指導に基づき、困難にも自ら進んで挑める姿勢を身につけさせる	「自分が努力したことを、先生は認めてくれる」と感じる生徒が93%以上	学校教育アンケート等	年度末	△						
開かれた学校づくり		情報の発信	・ICTを活用した効率的な情報発信を展開する	学校HP、tetoru、オンライン動画配信を活用して情報発信の効率化と進化を図るとともに、説明会等への保護者参加を容易にする	学校HPへのアクセスの前年比向上とtetoru等の効果的利用	ホームページアクセスと保護者の声	年度末	○	・アクセスは前年同期を上回っている。 ・地域行事への参加は前年同様の水準で実施した。				
	・地域の理解と協力に支えられた学校運営基盤の構築		地域社会のニーズを踏まえた連携基盤構築を進め、生徒と地域の関係強化する	「私たちが住んでいるこの地域が好きだ」という生徒が90%以上	学校教育アンケート等	年度末	○						
校長より(年度末)								学校関係者評価者から(年度末)					